

令和 6 年度第 2 回入札監視委員会議事概要

開催日時及び場所	令和 7 年 3 月 11 日：海上保安庁会議室	
委 員	委員長	郷田 桃代 ：東京理科大学工学部教授
	委 員	尾花 眞理子 ：弁護士
	委 員	堀江 正之 ：日本大学商学部特任教授
<抽出案件>		<備考>
○工事	1 件	委員会開催にあたり 委員長に 郷田 桃代 委員 を選任した。
一般競争	1 件	
公募型及び工事希望型指名競争	—	
指名競争	—	
随意契約	—	
○建設コンサルタント業務等	2 件	
○物品又は役務等	1 件	
合 計	4 件	
議事概要	意見・質問	回 答
委員からの意見・質問、それに対する海上保安庁の回答等	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

委 員	海 上 保 安 庁
応札者数と落札率の推移が数年間横ばいであるので、審議対象案件となった契約のみではなく海上保安庁としてどういうふうに取り組んでいくべきかについて考えられてもいいと思う。 再度入札について、令和6年度の件数は令和4、5年度と比較してどのように変化しているか。物価が高騰しており影響があるのか確認したい。 低入札の状況について、入札価格が最高の業者と最低の業者とで3倍程度違う契約がある。仕様書の内容が業者に伝わっているか検証はされているか。	(事務局より令和6年4月から令和6年9月の間の契約全体の概要について説明) 具体的な件数については把握していないが、入札不調があるのは事実である。とくに最近は金額が折り合わず不調の件数が増えているように感じている。 落札者がいた場合には落札者以外の業者へどうだったかといった検証には踏み込めていないが、不調時には金額の乖離の理由について聞き取りのうえ予定価格が適正であったか確認している。
【抽出事案審議 (1)】 <コンサル：一般競争契約> 「姫島礁灯台測量調査」(九管区) 積算基準に、ドローンを使用したり新しい技術を想定したりしておらず、現実とあっていないと思う。 市場調査をした業者が入札に参加しなかった理由は、ドローンを使用する業者が入札に参加されると落札できないと考えたからではないか。 入札調書を確認すると落札しなかった業者も安価で応札されているが、もう少し仕様書を工夫することにより業務の詳細を伝えることができたのではないか。	ドローンを使用し水深を測るグリーンレーザーは比較的新しい機材であり積算基準にはない。新技術として公開はされているが、機材を持っていない業者も未だ多く、近隣の業者へ市場調査を行ったところ、積算基準のとおり実施予定との回答があったことから今回の仕様には定めなかった。しかしながら調査を行った業者以外の応札があり、その業者がドローン使用を前提としたことからこのように価格に乖離が生じた。 ドローンを使用する応札者がいるかどうかは、ほかの業者はわからない。 能登地震の影響による工事が立て込んでいて、本件の入札は見送ったものと思料する。 落札できなかった業者は大手企業で能登に事務所があり、地理的に有利であった。測量と設計は経費率が高いが経費は企業努力で下げられるため安価になったものと思料する。
【抽出事案審議 (2)】 <コンサル：一般競争契約>	

「神戸船舶通航信号所附属施設調査設計業務」 (五管区) 履行場所が大阪であるので入札参加業者が複数者いるものと思われるところ1者応札であったので、適切に公告されていたか確認したい。また、本来A等級であるものの等級を拡大しなかった理由、今後の対応として受注者が余裕をもって履行できる期間を確保するとあるが履行期間に問題があり1者応札となったと考えているのか確認したい。 施設の現状写真を見るとかなり劣化しているが、緊急性があるのか。入札に影響はあったか。 信号に異常があったら業務に影響あるのでは。 落札業者はどこの業者か。 1者応札の理由として、建物の上部に鉄塔があり、通信設備もあり、専門的知識が必要であったのか、もう少し詳しくご説明いただきたい。	公告前に市場調査を行ったところA等級2者の参加が見込まれたことから、A等級のみでも競争性が確保できると考えていた。履行期間については市場調査により半年必要であることを確認し設定していたが、現状ボーリング調査により支持地盤が確認できず深度を延長していることから、不測の事態に備えもう少し履行期間を長くしてもよかったと考えている。 人に害を与えるか等を踏まえ検討しているところである。 老朽化している施設は多数あり、順次悪いものから整備しているところである。 大阪である。 建物は約12mあり、鉄塔は約15mである。昇降施設も必要で、通常は建物の上に高い鉄塔を建てるという案件があまりないので、ほかの業者はどのような鉄塔を設計したらいいか想像ができず入札参加を見送ったと思料する。
【抽出事案審議(3)】 ＜役務：一般競争契約＞ 「20メートル型巡視艇定期修理(2024-08)」(三管区) 2024-08は7月に契約しているが、2024-02はいつ契約したか。 4月は修理等が多数あり、7月には仕事がなくなるということか。 どのくらいの頻度で法定整備をしているのか。 船の大きさによって異なるのか。 第三管区として、C等級の技術審査合格業者は何者いるのか。 11者いるので良好な競争関係が維持されていると考えてよいのか。	4月である。 おそらく4月は民間船の修理があったものと思料する。 3年に1回中間修理、5年1回定期検査がある。 基本的には20トン以上の船であれば一緒である。 C等級は11者である。 ご理解のとおり。

落札率 69.67%であるので超低入札というわけではないが、適切に履行がなされるか確認されているのか。	履行完了後に検査職員が検査を行っている。
【抽出事案審議（4）】 <工事：一般競争契約> 「(海保大) ICT 教育構内ネットワーク等整備工事」(大学校) 仕様書において受注実績を資格要件と設定し、本校と同規模のネットワークを構築した実績、同規模の機器で構成される情報システムの設計構築した実績を有することとあるが、どのレベルで同規模と判断しているのか業者はわかるのか。例えば台数とか利用者とか示した方がわかりやすいと思われる。 セキュリティ要件について、作業員のバックグラウンドチェックはどのようにしているのか。 予定価格について、業者参考見積はどの業者から入手したものか。 仕様書が抽象的であるので、口頭で説明された内容も記載したほうが良いと考える。 A 等級のみとした場合、応札する可能性があった業者は何者いたのか。 落札業者より規模が大きい業者が指定された機器の取り扱いがないことを理由に入札参加を見送っているが、具体的にどのような機器か。 今後の対応に引き続き上記方策を継続するとあるが、具体的に何を意味するのか。 落札業者の関連会社が広島にいるようだが、再委託、再々委託により関係ない業者が履行していないか確認はされているか。	ネットワークの構築については仕様書交付の際に説明しており、また、その場で質問に対しても回答しつつ実施可能かどうか確認しており、そこで担保できていると考えている。 作業員のバックグラウンドについては仕様書交付の際に説明しており、工事期間中に作業員が確保できるか、資格を有しているか確認している。 入札参加希望者の 2 者である。 これまでの契約実績等から、広島、呉地区の 7 者に情報提供を行った。 使用する機器は特定のメーカーが独占して取り扱っているわけではなく、当校には既設の機器があり、その機器との連携が必要であるが、それらが可能な機器の取り扱いがなかったと思料する。 予定価格の算定については積算基準、市場調査により適正な価格を設定し、等級の設定については市場調査を踏まえ設定したいと考えている。 再委託、再々委託について、一括の下請けは禁止されている。また、主たる業務の再委託も認めていない。再委託する場合には申請書を提出させ、どの業者に委託するのか、どの業務を委託するのか確認している。

審議の結果

本日は4件の契約について、入札手続き等をご説明いただきありがとうございました。

全体的に入札手続きについて適正に行われていたことを確認しました。

そのうえで、それぞれの案件についてご意見を申し上げます。

1件目の姫島礁灯台測量調査につきまして、予定価格と契約額に乖離がありましたが、仕様書の記載内容、予定価格の考え方について適切であると理解しましたので、引き続き継続していただければと思います。

2件目の神戸船舶通航信号所附属施設調査設計業務につきまして、積極的に等級拡大を検討いただき、履行期間については適切に設定していただければと思います。入札手続きとは関係ありませんが、老朽化している施設を順次整備しているとのことですが、できる限り予算確保のうえ改修していくことが必要と考えています。

3件目の20メートル型巡視艇定期修理（2024-08）につきまして、低入札となっていますが、賃金を上げていくという流れに逆行しているように思われ、低額の入札であればいいというわけではないので施策を踏まえつつ適正な予定価格を設定いただきたいと思います。

4件目の（海保大）ICT教育構内ネットワーク等整備工事につきまして、仕様書の中で実績を求める場合にはできるだけ具体的に明記したほうが入札参加業者の拡大につながると思うのでご検討いただければと思います。

全体的に、仕様書及び入札説明書をホームページからダウンロードできるものと、業者から求められてから配布するものとがあり、管区で仕組みに差が見受けられましたが、ダウンロードのほうがアクセスし易いという可能性があるのではないかと考えておりますので、入札参加業者拡大のためご検討いただければと思います。

以上でございます。